

※本資料は「グローバル・ヘルスケア&バイオ・ファンド〈愛称：健次〉」の概要について投資家のみなさまにお知らせするために作成したものです。このため、ファンドの商品性、リスク、お申込みメモ等については投資信託説明書（交付目論見書）をご確認いただく必要があります。

当ファンドの基準価額の推移

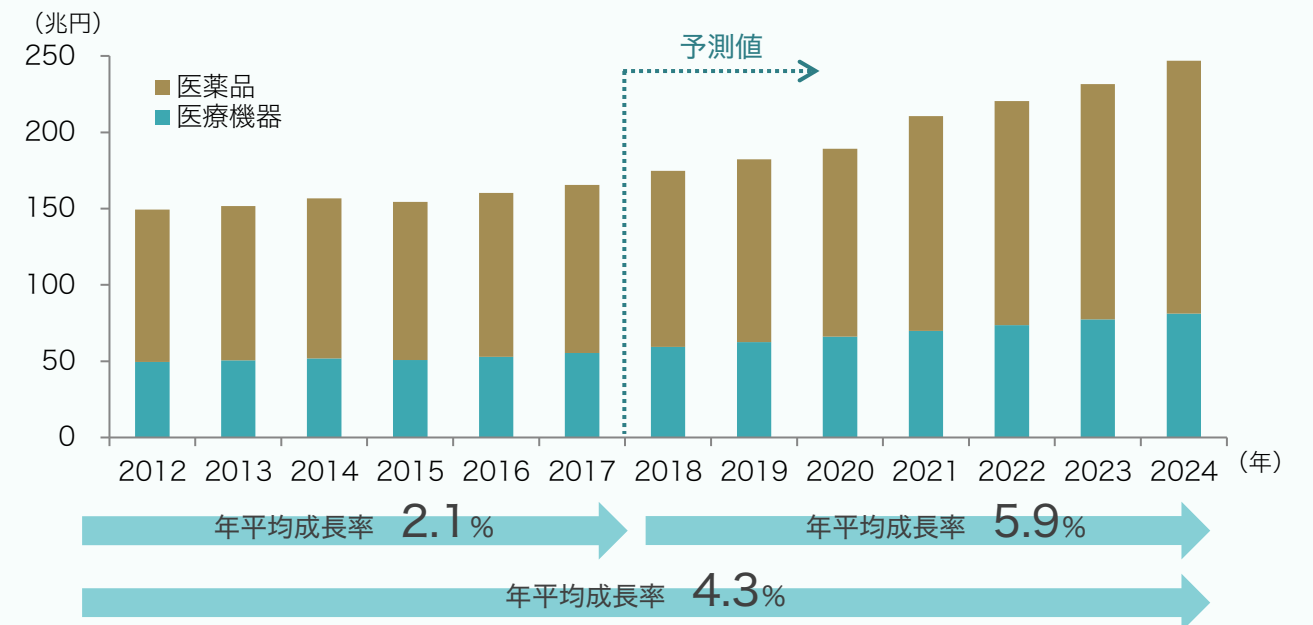
- 当ファンドの基準価額（分配金再投資）は、設定時の約5倍に成長しており、投資成果を積み上げてきました。
- 一方、2022年初来の当ファンドの基準価額（分配金再投資）は、一進一退で推移しました。当ファンドを取り巻く投資環境に目を向けると、世界的なインフレの長期化、ロシアによるウクライナ侵攻、米国や中国をはじめとする世界の景気減速懸念など重石が山積しており、当ファンドは上値の重い展開が続きました。



期間：（左図）2004年2月27日（設定日）～2022年6月30日、日次 （右図）2021年12月30日～2022年6月30日、日次
 ・基準価額、基準価額（分配金再投資）は、1万口当たりであり、運用管理費用（信託報酬）控除後の値です。・信託報酬率は、後記のファンドの費用に記載しています。
 ・基準価額（分配金再投資）は、分配金（税引前）を再投資したものと計算しています。

世界の医薬品と医療機器の市場規模推移

世界の医薬品と医療機器の市場規模は、2012年から2017年までの年平均成長率2.1%に対し、2018年から2024年の年平均成長率は5.9%とさらなる成長が見込まれています。



期間：2012年～2024年（2018年以降は予測値）、年次
 出所：Evaluate Pharma「World Preview 2021, Outlook to 2026」、Evaluate MedTech「World Preview 2018, Outlook to 2024」を基に三菱UFJ国際投信作成
 ・医薬品は処方薬。為替は1米ドル136.68円（2022年6月30日時点）で計算。

変わらない成長ストーリー

ヘルスケア業界の3つの成長ポイント



1 先進国の高齢化

医療の進歩等により高齢化が進み、医療支出が拡大



2 新興国の所得増加

経済成長に伴う所得の増加により、先進国と同様に医療支出が増加

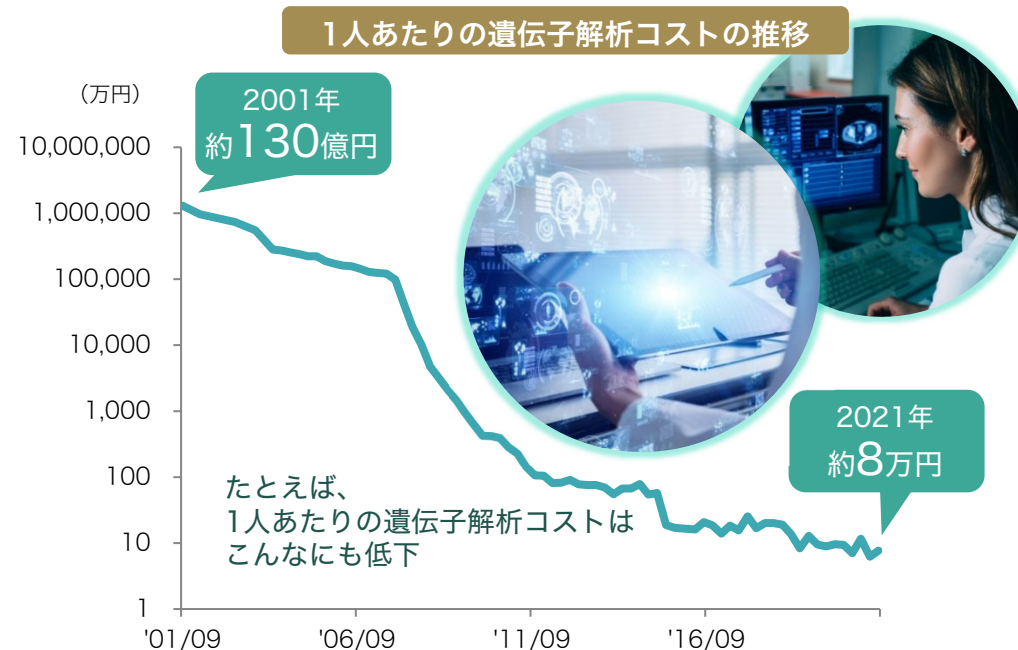


3 バイオ医薬品の発展

バイオ医薬品の売上高は年々増加
 難治療分野への展開が見込まれ、世界の医薬品売上高に占める比率も高まると予想

さらなる成長ストーリー

テクノロジーの進化が成長ドライバーに



期間：2001年9月末～2021年8月末、3ヵ月毎（2003年10月末までは半年毎）
 出所：National Human Genome Research Instituteのデータを基に三菱UFJ国際投信作成
 ・為替は1米ドル136.68円（2022年6月30日時点）で計算。

《ヘルスケア業界におけるテクノロジーの例》



創薬

- 遺伝子解析装置の進化は創薬のコストダウン、研究開発促進の後押しに
- AIやビッグデータの活用で創薬にかかる期間の短縮化

オンライン診療

- コロナ禍でデジタル化の流れが加速
- オンライン診療が普及し、治験をオンライン診療で進める動きも

テクノロジーの進化



医療機器

- 治療だけでなく、診断分野でも医療機器が活躍
- AIを活用した画像診断支援技術の向上により精度の高い診断が可能に



手術

- 難易度の高い手術を補助する手術支援ロボットが活躍
- 臓器をVR（バーチャルリアリティ・仮想現実）などで再現するシステムも登場

・上記は一例です。上記に関連する銘柄を当ファンドにおいて組み入れることを示唆・保証するものではありません。

投資対象としてのヘルスケア株式

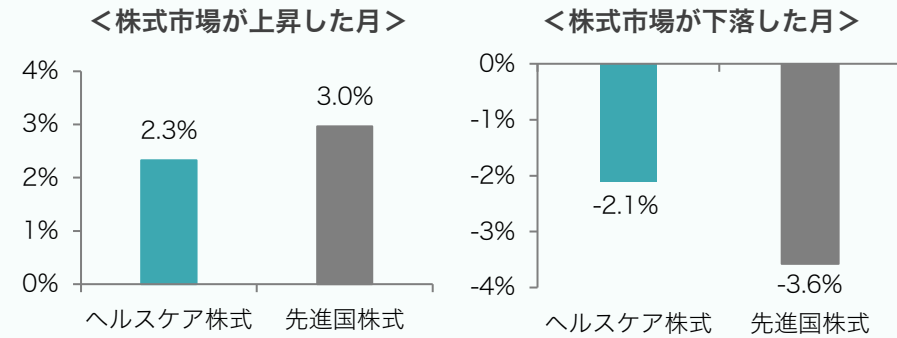
ヘルスケア株式の傾向

- 株式市場の上昇局面では追随力を、下落局面では下値抵抗力を発揮
- 景気に左右されにくい業種の株式

株式市場が上昇・下落した月に分けてヘルスケア株式のパフォーマンスをみると、株式市場の上昇局面では追随力を、下落局面では下値抵抗力を発揮しました。

ヘルスケア株式は生命に関わる製品やサービスを提供する業種の株式であり、企業収益が景気に左右されにくいと考えられます。

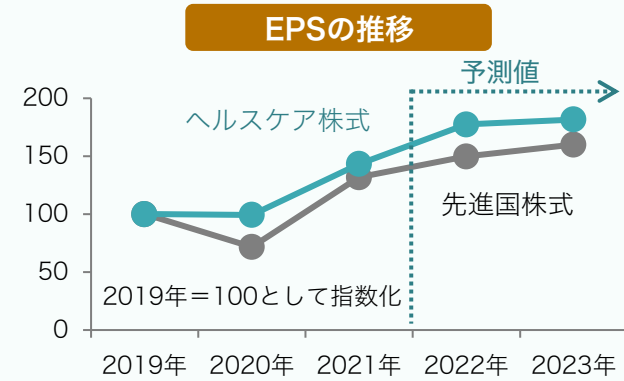
過去20年間の株式市場が上昇・下落した月におけるパフォーマンス



出所：Bloombergのデータを基に三菱UFJ国際投信作成
 期間：2002年7月～2022年6月、月次
 ・上記は指数（現地通貨ベース、税引き前配当込み）を使用しています。上記期間における「先進国株式」の月次騰落率について、上昇した月（株式市場が上昇した月）と下落した月（株式市場が下落した月）に分けて、「先進国株式」と「ヘルスケア株式」それぞれの平均月次騰落率を算出しました。

EPS（一株あたり利益）：成長性を見る指標

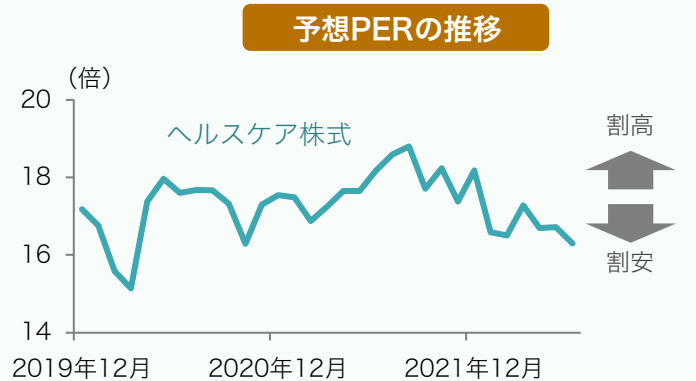
一株に対して企業がどれだけ利益を稼いでいるかを示す



出所：Bloombergのデータを基に三菱UFJ国際投信作成 期間：EPS：2019年～2023年（2022年と2023年は予測値）、年次 予想PER：2019年12月～2022年6月、月次
 ・2022年および2023年のEPSは2022年7月11日に取得した各年末の予測値を使用、予想PERは12ヵ月先予想PERです。・上記は指数（米ドルベース）を使用しています。

PER（株価収益率）：株価の割高・割安を見る指標

EPSに対して株価が何倍まで買われているかを示す



■上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮しておりません。指数については【本資料で使用している指数について】をご覧ください。

ファンドの目的：信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。

ファンドの特色

- 世界主要先進国市場のヘルスケア・バイオ関連企業の株式を主要投資対象とします。**
 ◆世界主要先進国市場の中から、製薬、バイオテクノロジー、医療製品、医療・健康サービス関連企業等の株式に分散投資を行います。
 ◆株式の組入比率は、原則として現金比率をできるだけ抑え、高位を維持します。
- 財務・収益状況（ファンダメンタルズ）の健全な企業へ長期的な割安度を重視して投資（バリュー投資）を行います。**
 ◆新商品の開発、企業の合併・統合、政策変更等を背景としたヘルスケア・バイオ市場の変化によってもたらされる投資機会に着目します。
 ◆銘柄選定は、ヘルスケア・バイオ関連企業の財務データや業績見通しといった株価を動かす基本的な要因を重視した分析（ファンダメンタルズ分析）に基づいて行います。企業の事業見通し、新商品の見込み、企業戦略、競争性等に重点を置いたボトムアップ・アプローチを行います。
 ◆外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。
- 株式等の運用にあたっては、ウエリントン・マネージメント・カンパニー・エルエルピーに運用指図に関する権限を委託します。**
 ◆ウエリントン・マネージメント・カンパニー・エルエルピーは、1928年に創業した米国最古の運用機関の一つです。
 ◆ヘルスケア・セクターでは世界最大規模のファンドの運用アドバイザーを受託しています。
- 年2回決算を行い、収益の分配を行います。**
 ◆毎年2月27日および8月27日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、収益分配方針に基づいて分配を行います。

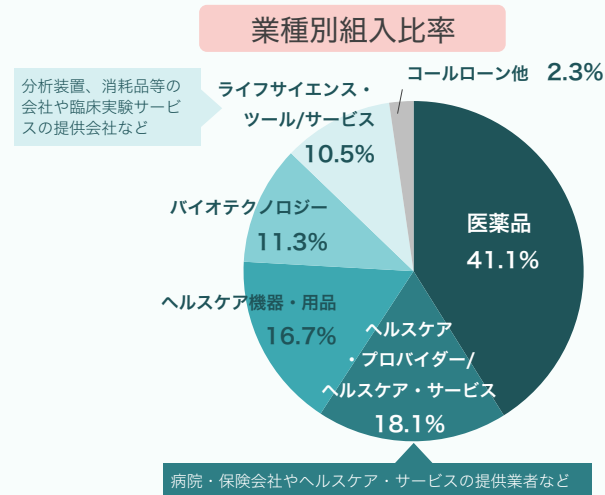
収益分配方針 ・分配対象額の範囲は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます）等の全額とします。・委託会社が基準価額水準・市況動向等を勘案して、分配金額を決定します。（ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わない場合もあります。）
将来の収益分配金の支払いおよびその金額について保証するものではなく、委託会社の判断により、分配を行わない場合もあります。
 原則として、決算日の基準価額水準が当初元本額10,000円（10,000口当たり）を超えている場合には、当該超えている部分について、分配対象額の範囲内で、全額分配を行います。（資金動向や市況動向等により変更する場合があります。）

市況動向および資金動向等により、上記のような運用が行えない場合があります。

投資リスク：基準価額の変動要因：基準価額は、株式市場の相場変動による組入株式の価格変動、為替相場の変動等により上下します。また、組入有価証券等の発行者等の経営・財務状況の変化およびそれらに関する外部評価の影響を受けます。これらの運用により信託財産に生じた損益はすべて投資者のみならずにも帰属します。したがって、投資者のみならずの投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。投資信託は預貯金と異なります。主な変動要因は、株価変動リスク、為替変動リスクです。上記は主なリスクであり、これらに限定されるものではありません。くわしくは、投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

当ファンドの運用状況

当ファンドはヘルスケア業界に属する様々な業種を投資対象とすることで、様々な投資機会を捉えることをめざします*1。



組入上位10銘柄

銘柄	業種	比率
1 ユナイテッドヘルス・グループ	ヘルスケア・プロバイダー/ヘルスケア・サービス	9.3%
2 イーライ・リリー	医薬品	7.4%
3 ファイザー	医薬品	6.6%
4 アストラゼネカ	医薬品	5.3%
5 プリストル・マイヤーズ スクイブ	医薬品	4.9%
6 ノバルティス	医薬品	4.1%
7 ダナハー	ライフサイエンス・ツール/サービス	3.8%
8 ヒューマナ	ヘルスケア・プロバイダー/ヘルスケア・サービス	2.8%
9 ゴエティス	医薬品	2.4%
10 第一三共	医薬品	2.4%

*1：市況の変動等により、上記の運用方針通りの運用が行えない場合があります。
 ・（グラフ・表）時点：2022年6月30日。業種は、GICS（世界産業分類基準）の産業分類で分類。比率は純資産総額に対する割合です。表示桁未満は四捨五入して表示しています。

進化するヘルスケア企業

ヘルスケア関連のニュースは新型コロナ*2だけではなくありません。組入上位3銘柄について、昨今の取り組み・ニュースを交えながらご紹介します。

ユナイテッドヘルス・グループ

米国最大手の医療保険会社である同社は、通常の医療保険事業の他、情報技術を活用し医療データ分析事業を行う「オプタム」をビジネスの柱としています。2022年3月、同社は在宅医療サービスを提供するLHCグループの買収を発表しました。オプタムが持つ医療データ分析サービス・プラットフォームとコロナ禍で需要が拡大した在宅医療の相乗効果が期待されます。

イーライ・リリー

米国大手医薬品企業。1923年に世界で初めてインスリン製剤を発売した同社は、2022年5月、米食品医薬品局（FDA）に糖尿病・肥満症治療薬「チルゼパチド」が承認されたと発表しました。生活習慣病等から発症した糖尿病や肥満症に効果が期待され、治験では被験者の体重約2割減少の成果も得られました。米国では成人の5人に2人が肥満とも言われており、同業の市場規模は大きいと考えられます。

ファイザー

米国大手医薬品企業である同社の2022年1-3月期決算は、新型コロナのワクチンの需要がけん引し、売上高・純利益ともに前年比大幅増となりました。同社は新型コロナ以外の取り組みも活発で、需要の高い乳がん治療薬を持っていたり、2022年5月にはバイオテクノロジー企業を買収を発表しました。ワクチン開発で得た潤沢な資金と技術を基に、他疾患の研究開発も進むことが期待されます。

*2：新型コロナウイルス感染症 出所：ウエリントン・マネージメント・カンパニー・エルエルピーのコメント、各種資料を基に三菱UFJ国際投信作成 ・上記は昨今のヘルスケア企業の取り組みについてご理解を深めていただくため、2022年6月30日時点の組入上位3銘柄の取り組みの一例をご紹介します。したがって、個別銘柄の推奨を目的とするものではなく、当ファンドにおいて組み入れることを示唆・保証するものではありません。・上記は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。

ファンドの費用 【購入時手数料】 購入価額に対して、**上限3.30%(税抜 3.00%)** 販売会社が定めます。くわしくは、販売会社にご確認ください。

【信託財産留保額】 換金申込受付日の翌営業日の基準価額に**0.3%**をかけた額
 【運用管理費用(信託報酬)】 日々の純資産総額に対して、**年率2.420%(税抜 年率2.200%)**をかけた額
 【その他の費用・手数料】 監査法人に支払われる当ファンドの監査費用/有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料/有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用/その他信託事務の処理にかかる諸費用 等 ※その他の費用・手数料については、売買条件等により異なるため、あらかじめ金額または上限額等を記載することはできません。
 ※上記の費用(手数料等)については、保有金額または保有期間等により異なるため、あらかじめ合計額等を記載することはできません。

【本資料に関するご注意事項等】 ■本資料は三菱UFJ国際投信が作成した情報提供資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。投資信託をご購入の場合は、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認ください。■本資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■本資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。■投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。銀行等の登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の補償の対象ではありません。■投資信託は、販売会社がお申込みの取扱いを行い委託会社が運用を行います。

【本資料で使用している指数について】 ■先進国株式：MSCI ワールド インデックス ■ヘルスケア株式：MSCI ワールド ヘルスケア インデックス
 ・本資料中の指数等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。また、発行者および許諾者が指数等の正確性、完全性を保証するものではありません。各指数等に関する免責事項等については、委託会社のホームページ（https://www.am.mufg.jp/other/disclaimer.html）を合わせてご確認ください。
 【GICS（世界産業分類基準）について】 Global Industry Classification Standard（“GICS”）は、MSCI Inc.とS&P（Standard & Poor's）が開発した業種分類です。GICSに関する知的財産所有権はMSCI Inc.およびS&Pに帰属します。

● 投資信託説明書（交付目論見書）のご請求・お申し込みは

● 設定・運用は

販売会社は右記の三菱UFJ国際投信の照会先で
 ご確認いただけます。



三菱UFJ国際投信

三菱UFJ国際投信株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号
 加入協会：一般社団法人投資信託協会
 一般社団法人日本投資顧問業協会

お客さま専用
 フリーダイヤル **0120-151034**
 (受付時間/営業日の9:00～17:00)

● ホームページアドレス: https://www.am.mufg.jp/